いぬはりこ 環境整備

CASE❶

築30年の幼稚園舎がどう変わる？ 安全＆快適な大規模リフォーム

CASE❷

明るく楽しく使いやすく 生まれ変わったトイレ空間

JAKUETSU opinion

子どもにやさしい園舎環境づくり１

ドア・引き戸の指はさみ事故防止対策

vol. 01

JAKUETSU

築30年を経て、あちこち老朽化してきた園舎。子どもたちにとって、より安全で快適な空間にできないだろうか

埼玉県　H幼稚園

ご提案

子どもたちの夏休み期間を利用して、数年かけた大規模改修を提案。安全性・耐久性に優れたトータルリフォームが可能です

長い年月を経て、たくさんの子どもたちを育んできた愛情いっぱいの園舎。けれども、施設・設備の劣化は、思わぬ事故の原因にもなりかねません。新たに建て直すのでなく、ジャクエツ提案の大規模リフォームで、より安全な園舎づくりを。安全・安心はもちろん、使い勝手もアップ。子どもたちの笑顔がこぼれます。

（上）古くなった教室の床を、フローリングに一新。清潔でぬくもりのある空間に生まれ変わりました。
（中）園舎全体の廊下と階段を、耐水・耐久性が高くて汚れにくい素材に張替えました。
（下）教室の出入り口にある引き戸には、戸当たり部分にクッション性のある素材を採用。もし子どもが指をはさんでしまっても、衝撃をやわらげる効果があります。

明るい日差しがさしこむ園舎。広い園庭には、大きな木やジャクエツの遊具が配されています。

教室と廊下を隔てる壁にアクリル板をはめ込み、大きな窓を設けました。園舎全体が明るくなり、廊下側から子どもたちの様子がよく見えると、保護者にも好評です。

幼稚園の楽しい毎日をやさしくサポート
”子どもの目線“を通して生まれた安全設計

H幼稚園　園舎環境整備～改修の流れ

1975年	幼稚園創立
1978年	人口増加に伴い、４クラスから９クラスに増設
1998年	園庭のまわりを囲むフェンスを改修
2004年	園舎に隣接する管理棟を建設
2005年	和式トイレをドライ式の洋式トイレに改修 園舎２階（教室の床・内壁・廊下・階段）を改修
2006年	園舎１階（教室の床・内壁・廊下）を改修
2007年～	園舎テラス、水まわり等の改修を予定

（上）先生方の意見をもとに作られた特注タイプの年中児ロッカー。子どもの身長にあわせた高さ、角のない形状がポイント。（右）上に横に、たくさんのフックが上着やかばんを掛けるのに便利。

Before

トイレに設置した、陶器製シンクの手洗いカウンター。水が飛び散りにくいデザイン。抗菌性も優れています。

Before

１９７５年の創立から、今年で31年目をむかえるH幼稚園。これまで数多くの子どもたちの成長を見守り続けてきた、ぬくもりいっぱいの園舎では、いつの時代もはつらつとした表情の子どもたちが、元気に園生活を過ごしています。

「幼稚園では、基本的な生活習慣や人と関わる力を、遊びを中心とした園生活を通して子どもたち自身の力で身につけてほしい」と園の教育方針を語る園長は、子どもたちがより安全で楽しい毎日を過ごせるよう、１９９６年の園長就任以来、園舎・園庭の環境整備に力を注いでいます。

今回、各教室の床材改修や廊下の張替えなど、数年にわたる大規模リフォームに至った理由は、築30年という年月の経過に伴った施設の老朽化と、次第に表面化してきたさまざまな問題点。

トイレの入り口にある、味わいのある木彫サイン。大きな字とデザイン画でわかりやすい。

新しくなった教室で、子どもたちもうれしそう。安全で快適な環境は、園児の健やかな成長をぐんぐん育みます。

Before

（右）アクリル板を使った斬新なカットが特徴の引き戸は、先生方のアイデア。戸の開閉時に持ち手として、もちろん部屋の様子を見る窓としても使えます。（左上）教室の名札はやさしい木彫デザイン。（左下）子ども用と大人用、引き戸の引手が２ヶ所にあります。

「廊下が暗い」「教室をもっと快適に」「子どもの危険防止対策を」などの課題に対し、ジャクエツは〝子どもの目線〟を通して独自に調査・開発した商品や設計プランをご提案。納得いただける園舎整備のお手伝いに携わってきました。

たとえば、教室の引き戸やトイレの扉で園児が指を挟まないための工夫や、転ばないように部屋の段差をなくす、各年齢の体格に合わせたイスや机、トイレなど、ジャクエツならではのきめ細かい安全設計に対する取り組みは、多くの園からも高い評価を得ています。

ジャクエツに設計や改修を依頼した理由について、「単純にモノを売るだけの会社でなく、独自の開発に基づくプランニングやアイデア、実績が豊富にあり、安心して任せられます。さまざまなお願いや相談にもきちんと応じてくれ、営業担当者とよい信頼関係を築くことができました」とにこやかに語る園長。

「園舎全体が明るく開放的な空間になって、園児も職員も喜んでいます。子どもたちにとって、やさしい環境づくりができました」と、その仕上がりについても満足度の高いお言葉をいただきました。

ジャクエツの考える園舎環境とは、子どもたちと先生が信頼関係を育みながら、豊かに、のびのびと、元気いっぱい毎日を過ごせる空間であること。そのため、ジャクエツの環境整備は、より安全に、より快適に、子どもたちの成長をやさしくサポートしていきたいと考えています。

Jakuetsu Column

プランニングから着工、アフターフォローも大切

ふだんから、園に週1回は顔を出し、困っていることや改善したい点など、いつでもご相談を受けられる態勢を心がけています。また、床材や廊下の張替えといった大規模改修に限らず、ジャクエツの技術を活かしてどんな細かい部分にも対応させていただくのがモットーです。園舎の環境整備は、ご提案や工事期間はもちろん、アフターフォローも大切だと認識しています。今後も、園の安全・安心な環境づくりをお手伝いしたいと思います。（写真上：幼児環境営業課長・坂牧誠、下：さいたま店店長代理・田中信一）

ウエット式の和式トイレを、ドライ式の洋式にしたい。暗いイメージのあるトイレを、明るく楽しい場所にできないだろうか

東京都　昭島台幼稚園

ご提案

子どもの体格調査データに基づいて開発した、オリジナルの器具やブースを提案。明るく、開放感いっぱいのトイレ空間です

子どもたちの使いにくさと同時に、お手入れも一苦労のウエット式トイレ。ジャクエツオリジナルの器具を使ったドライ式にリフォームし、衛生的で快適な空間づくりを実現。環境に優しい節水対策、指つめ防止や出入り口のバリアフリーなどにも配慮しました。

（上）曲線を活かした年少児トイレのノンポルトブース。
（下）ユニークな遊び心を感じる、トイレタンクのデザイン。

”明るく楽しく使いやすく“生まれ変わったトイレ空間

子どもが園生活を過ごす上で毎日必ず使用する場所、トイレ。とても身近な存在なのに、園児たちが感じているトイレのイメージは「暗い」「汚い」「怖い」の３つ。その上、和式タイプのトイレの場合、家庭で慣れている洋式トイレとは勝手がちがうため、周囲の床や洋服を汚してしまうなど、子どもにとっては使いにくいものです。

こうした理由から「一人でトイレに行けない」「トイレに行くのが嫌い」という子はたくさんいます。

来年40周年をむかえる東京都の昭島台幼稚園には、年少用・年中用・年長用と３ヶ所のトイレスペースがあります。

１９６７年の創立以来、ずっとウエット式の和式トイレを使用してきましたが、今年の夏休み期間を利用して、すべてのトイレをリフォームしました。

指つめや衝突を未然に防止安心して使えるデザインに

新たに生まれ変わった昭島台幼稚園のトイレは、ジャクエツオリジナルの便器や手洗いカウンターを設置するだけでなく、仕切り用のブースや壁のクロスを張替えた

スペースを有効活用し、清潔で快適な空間に生まれ変わった、年長児用のトイレ。やさしい配色や木目が落ち着いた雰囲気に

扉がないのに、個室感覚のゆったり空間
先生方もイチ押しの”ノンポルトブース“

（上）年長児用トイレの扉は、指はさみ防止を考慮して、ドアとブースの間に約20mmの隙間が生まれるように設計しています。（下）アールの曲線が特徴的な年少児用のノンポルトブース。真ん中に先生が立つことで、同時に２人の補助ができます。

Before

リフォーム前のトイレは、うす暗くじめじめした雰囲気。ウェット式なので、先生方の掃除も大変でした。

り、床をウエット式からドライ式にするなど、スペース全体の空間設計にもこだわりました。

ジャクエツの提案しているトイレ空間のポイントは、①手入れが簡単、②環境にやさしい節水対策、③安心して使えるトイレ。

幼稚園児の体格を調査し、そのデータに基づいて研究開発したオリジナル便器は、子どもがすわると、ひざの裏が便器にぴったりつき、床に足が完全につくので、つねに安定した状態で使用できます。また、丸みをおびたすっきりデザインなので、汚れてもサッと拭き掃除でOK。いそがしい先生たちの手間を取ることもありません。

出入り口の段差をなくしてバリアフリーにした床も、耐水性に優れた塩ビシートなので、お手入れは簡単。子どもたちは裸足のまま気軽に利用できます。

今回のリフォームで、昭島台幼稚園の先生方イチ押しのポイントは、年少用に採用した、ユニークなR形状のノンポルトブース。扉がないので、開閉時の指つめ防止や衝突防止に役立ち、小さな子でも安心して使えます。ちょっぴりプライバシーを意識し始めた年長用には、指つめ防止の工夫が施された、使い勝手のよい扉つきのブースを設置しました。

さて、9月の新学期。久しぶりに登園してきた子どもたちは、以前のトイレとはまるで別空間のような、明るく開放的なトイレにびっくり。さっそく試して「楽しいね」「広くなったみたい」「きれいで気持ちいい！」とニッコリ。

「ぼく、トイレ行ってくる」「私も！」ジャクエツは、そんな子どもたちの自立心や快適な生活を応援し続けます。

壁掛け式の便器は、掃除がしやすく衛生的。使用時に子どもがズボンを下ろしてもジャマになりません。自動センサー付きなので流し忘れる心配もナシ！

Jakuetsu Interview

●お話をうかがった方●
昭島台幼稚園
常木浩史副理事長
河西麻衣子保育主任

――リフォームに至った経緯を教えてください。

常木　大きな理由は、やっぱり施設の老朽化。ウエット式なので、ふだんの掃除も大変でした。

河西　いつもデッキブラシを使ってゴシゴシ磨いていましたね。和式のトイレを洋式に、という願いもありました。

――ジャクエツに依頼された理由は何でしょう？

河西　決め手はノンポルトブースです。営業担当の方と、東京・杉並区の実績園を見学に行き、あのカーブの曲線を初めて見たときの感動は忘れられません（笑）。子どもにやさしいだけでなく、大人にとっても補助しやすい設計。「これだ！」と確信しました。

常木　ジャクエツの提案力・企画力は業界ナンバーワンだと思っています。子どものことをよく研究していて、いろいろなノウハウやアイデアも持っている。営業さんがこまめに園に足を運んでくれ、いろいろ相談できたのもよかったです。

――仕上がりや使い勝手はいかがですか？

常木　明るく清潔感があって、子どもたちをはじめ職員や保護者にも好評です。

河西　バリアフリーなので子どもたちは裸足のまま入れるし、便器も使いやすそう。

――子どもたちの反応は？

河西　じつはリフォーム後、子どもたちがブースでふざけてかくれんぼしたり、遊んじゃうかな？　と懸念していたのですが、実際にはまったく逆。どの子も自然に、きちんと順番を待って利用しています。職員も「みんなできれいに、大事にしようね」と声をかけ、大切に使っていきたいと思います。

「理想のトイレ空間ができました」と語る、保育主任の河西麻衣子先生。

Jakuetsu Column

カタログだけでなく、実績園の見学にも

じつは20年ほど前に昭島台幼稚園様を担当させていただいた時期があり、このたび再度担当となって時おり訪園する中で、「トイレを改修したい」というご相談をいただきました。さっそく見積もりやプランを提案させていただき、東京・杉並区の実績園の見学にお連れしました。実際に、実物のトイレ器具やブースを見ていただいたことで、ジャクエツのトイレ設計のよさを実感していただけたと思います。改修後、子どもたちが楽しそうにトイレを利用している姿が印象的でした。

（八王子店・岸本俊孝）

子どもの気持ちになって作りました。
ジャクエツ・オリジナルトイレ器具

チャームユリナル　J-U405

EWT0020　¥78,330 税込 (¥74,600 税別)
□サイズ：27.5 × 34.5 ×高さ 50cm　□重さ：13kg
□材質：陶器　□カラー：アイボリー
□フラッシュバルブ、自動センサーはオプションとなります。
■運賃別途　■組立費別途　■据付工事費別途
〈特長〉・身長に合わせて取り付けられます。
・便器の下が空いているので掃除がしやすい。
・におい防止対策としてトラップ内蔵型です。
・汚垂れを防ぐ先端が突き出た形状になっています。

チャームクローゼット　J-C438

普通便座セット (タンク付き)
EWT0030　¥136,500 税込 (¥130,000 税別)
□サイズ：本体／ 28 × 49 ×高さ 34cm
タンク／ 33.4 × 24.2 ×高さ 44.5cm
□重さ：32kg
□材質：本体・タンク／陶器　便座／ポリプロピレン樹脂
□カラー：アイボリー　□対象年齢：3 ～ 5 歳
□運賃別途　□組立費別途　□据付工事費別途
〈特長〉・水量 7.5l の節水型。
・ネオボルテックス洗浄 (渦巻き状に洗浄) で汚物を強力に吸い込むのでニオイがでません。

暖房便座　JDL438H

EWT0033　¥39,900 税込 (¥38,000 税別)
□サイズ：28.4 × 37.3 ×厚さ 5.2cm
□材質：ポリプロピレン樹脂　□カラー：アイボリー
□消費電力：17W　□コード長さ：1m
〈特長〉・寒い日もおしりがあったかいので子どもがトイレを嫌がりません。
・小便飛び散り防止板付き。
・TOTO、INAX の一部の便器にも取り付け可能です。

ドア・引き戸の指はさみ事故防止対策

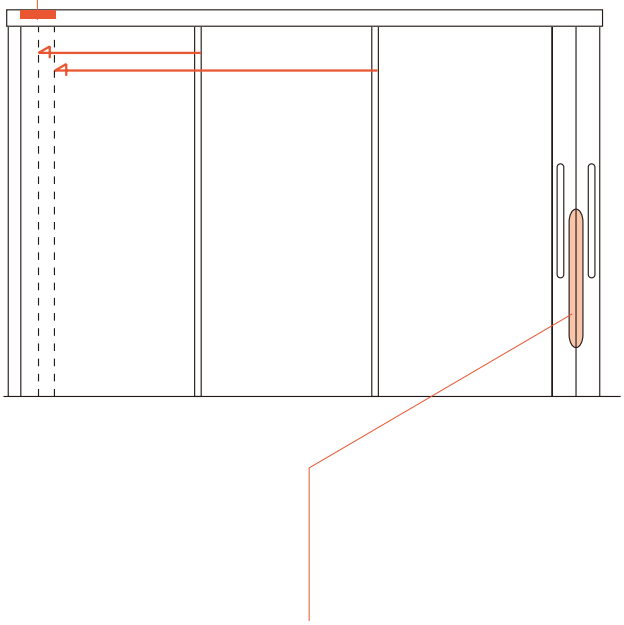
いつも元気いっぱい、好奇心旺盛の子どもたち。
予測できない行動力が、一瞬にして思わぬ事故を引き起こすことも……。
けれども、大人たちが24時間、子どもの行動を見守ることは不可能。
だから、ジャクエツは考えました。
子どものための安全設計や事故防止のデザインとは？
第1回目の今回は、園舎のドアや引き戸でおこる、
指はさみ防止対策の取り組みを紹介します。

ジャクエツが設計を手がける「さみどり保育園」（福井県敦賀市）の園舎には、事故防止のための工夫があちこちに施されています。

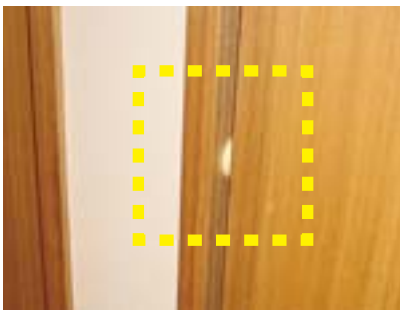
安全設計の基本は、「こういう場合、子どもたちはどんな行動をとるか」「どんな事故が想定されるか」など、子どもの目線に立って、その行動や心理を先読みすること。ジャクエツは長年にわたる幼

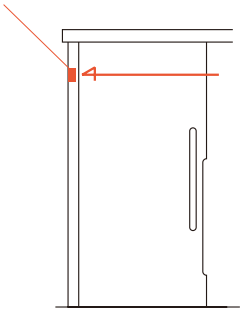
●３本引き框（かまち）戸の場合

片側３本引きの框戸の場合、框と框の間に指が挟まることを防止するために、戸当りを設置しクリアランス（すき間）を確保しています。



●引き戸の場合「戸当りゴム」





引き戸の枠に指はさみ防止のため、戸当りゴムを設置。現在、ゴムの高さを10㎜としていますが今後、さらに安全性を高めるために25㎜を推奨していきます。

●トイレブースの場合

子ども用トイレの扉は、開閉の際に指を挟まないよう、ドアとブースの間に約２cmのすき間を設けています。

●引き戸の場合「欠き込み」

園児が開閉する引き戸には、子どもがちょうど手をかける範囲に、指はさみ防止用の欠き込み加工を施しました。この欠き込みに手をかけて開けている子も多く見られます。

稚園・保育園施設の実績をもとに、指はさみ・指つめ事故防止についても、独自のアイデアやオリジナルのパーツなどを開発してきました。

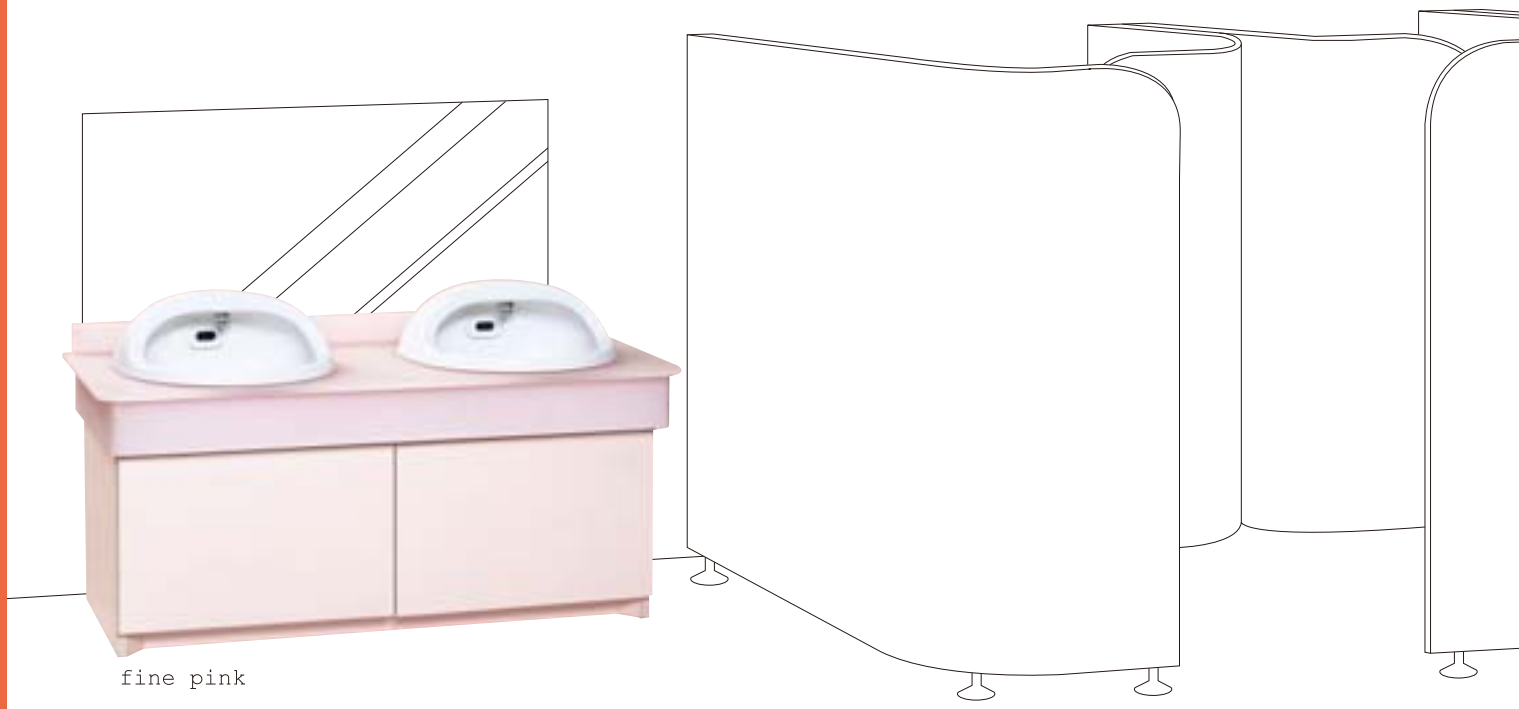
さみどり保育園において、まず特徴的なのは、全部で12ヶ所ある引き戸です。ぴったり閉めたときでも、子どもがちょうど手をかける高さ30～90cmの範囲だけ、幅3cmのすき間ができるデザイン。このすき間があることで、思いきり戸を開け閉めしても、手や指はさみ事故を未然に防ぎます。また、引き戸にかぎらず、トイレのドアや大きな框（かまち）戸など、さまざまな扉のタイプに応じた工夫を施し、安全を強化しています。

「外で遊ぼうよ」「ぼくも行く！」引き戸を開け、教室から次々に出てくる園児たち。戸のすき間に手をかけ、バタンバタンと開け閉めしながら元気に飛び出します。今後もジャクエツは、一つ一つの園舎について、最良の幼児教育環境を作るため、安全・安心設計のニーズにお応えしていきます。

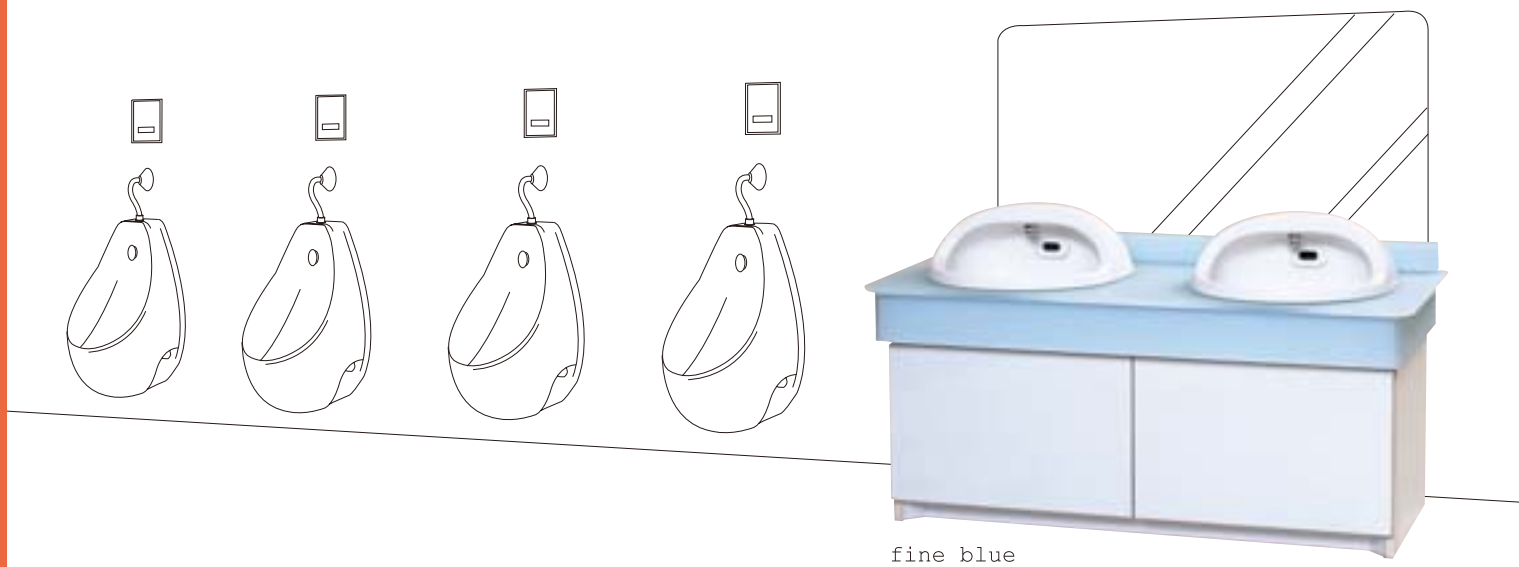
いぬはりこ環境整備 vol.1
2006年10月1日発行　発行　株式会社ジャクエツ

当社の社章は犬張子です。犬張子は子どもの祓（魔除けのお守り）として古くから愛されています。

手をかざすと自動センサーで吐水。周りに水が飛び散りにくい、丸い形が見た目もかわいい、機能派シンクです。



fine pink



fine blue

手洗いクリアカウンター

EWW0071　¥**609,000** 税込（¥580,000税別）

□サイズ：112×50×高さ65.5cm
□材　質：シンク／陶器
　　カウンター／アクリル系人工大理石
　　キャビネット／メラミン合板張り
□カラー：ファインピンク・ファインブルー
□埋込自動水栓泡沫器仕様
□運賃別途　□組立費別途　□据付工事費別途

特注も別途承ります。

K010631011592